

(別表第1の4)

目標達成計画

事業所名 グループホーム 鶴翠

作成日: 平成 29年1月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	2	事業所と地域とのつきあいについて、外部の方やボランティアの訪問等の機会は、定期的にあるが、事業所として、地域の行事に出向く等の関わりが少ない。	地域の行事に参加し、事業所や認知症について知って頂く機会を多く持ち、外出支援を兼ねた地域との交流を図る。	地域の公民館の行事やイベントへの参加をし、地域とのつながりを持つことで、事業所への理解を深めて頂く。また、小、中学校等の行事にも参加をさせて頂けるものについては、積極的に出向くことで、若い年代の人にも、グループホームや認知症への理解を深めてもらう機会を作る。	12 か月	
2	18	日常的な外出支援については、車イスの利用者が増えていることもあり、全体で外出することが難しくなっている。また、外出する機会も以前に比べると減っており、今後の課題である。	各ユニットの行事計画において、外出支援に重点を置き、計画を立て、外出の機会を増やす。入居者やご家族の希望する場所への外出も取り入れ、入居者、ご家族、職員等の交流の機会とする。	季節の行事は、外出支援を目的とした行事企画を立て、全員が外出の機会を得られるように、一日で終わらせるのではなく、ゆとりを持ったスケジュールとし、入居者のご家族、職員がみんなで楽しめるものにする。	12 か月	
3					か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。